

## 第5回半田市議会定例会建設産業委員会委員長報告書

当建設産業委員会に付託された案件については、7月7日午前9時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第40号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

マイナンバーカード取得促進事業について、今後マイナンバーカードの出張申請を申し込んだグループや大型商業施設等の特設申請窓口にて申請をされる方、または、予約の上、市役所で申請をされた方に対し、500円分の<sup>ク</sup><sup>オ</sup>QUOカードを、それ以外の方法で申請された方に、ノベルティをプレゼントすることのだが、ノベルティを配る対象はだれか。とに対し、

予約をせずに市役所で申請していただいた方です。とのこと。

<sup>ク</sup><sup>オ</sup>QUOカードまたはノベルティのプレゼント期間は、令和4年2月末までで、なくなり次第終了となっているが、仮に令和4年2月末までに、なくならなかった場合は、その後も事業を継続するのか。とに対し、

なくならなければ、3月中も事業を継続したいと考えています。とのこと。

外国人の方にもマイナンバーカードを申請してもらうために、どのような働きかけを行っているか。とに対し、

外国人の方は、特別永住者証明書の更新や市内転居または、市外からの転入時に市民課窓口に来られるため、その際にマイナンバーカードの申請案内を行っています。とのこと。

3名以上のグループに対しては、職員が出向いて申請を受け付けるとのことだが、そのサービスを有効利用してもらうために、各種団体に対してこちらから申請の働きかけをすることは考えているか。とに対し、

全世帯にチラシの<sup>とうかん</sup>投函を行います、各種団体にも個別にPRを行いたいと考えています。とのこと。

若い世代に対して、ピンポイントに申請の働きかけをする考えはあるか。  
とに対し、

市内の高校や大学への働きかけをしていきたいと考えています。とのこと。

バイオマス利活用支援事業について、工事の実施計画を前倒しにするとの  
ことだが、工事については、新型コロナウイルス感染症の影響で半年ほど遅  
れていると聞いている。前倒しができるのはなぜか。とに対し、

新型コロナウイルス感染症の影響により工事が遅れたのは、令和 2 年度で  
あり、令和 3 年度に予定していた工事については予定通りに進んでいます。

前倒しするのは令和 4 年度に予定している工事の設計のみであり、本体工  
事を前倒しにするものではありません。とのこと。

令和 4 年度に予定していた工事の設計を令和 3 年度に前倒しをして行うこ  
とで、令和 3 年度に実施する工事の補助率についても 3 分の 1 から 2 分の 1  
に上がるのは何故か。とに対し、

令和 4 年度に予定していた工事の設計は、自立・分散型エネルギー供給シ  
ステム整備と呼ばれるもので、停電時の施設強<sup>きょうじん</sup>靱化のための太陽光発電シス  
テムなどの整備のことを指しますが、要綱改正により、この整備を行う年度  
は、本体工事に対する補助率も 3 分の 1 から 2 分の 1 に上がることとなった  
ためです。とのこと。

ごみ減量対策事業について、生ごみ処理機の増額補正額は 116 基で、  
174 万円とのことだが、1 基当たりいくらで積算しているか。とに対し、

補助金額の上限が 1 万 5 千円ですので、1 基当たり 1 万 5 千円で積算して  
います。とのこと。

生ごみ処理機・たい肥化容器の累計補助件数は何件か。とに対し、

令和 2 年度末までの累計<sup>るいけい</sup>で生ごみ処理機が 959 件、たい肥化容器が 2,768  
件、合計で 3,727 件です。とのこと。

令和 2 年度までに補助金を利用して購入された生ごみ処理機・たい肥化容器のうち、現在使用されているものはどの程度か。とに対し、

これまでに補助金を交付したすべての世帯のうち、何世帯が、現在使用しているかについては、把握しておりません。とのこと。

今後どのように設置件数を伸ばしていくのかという中期的な計画はあるのか。とに対し、

現時点ではありませんが、今後作成する必要があると考えています。とのこと。

有楽 92 号線等道路改良事業について、当該道路は、花園保育園を旧市営城きゅうしえいしろのうえじゅうたくあとちのうえじゅうたくあとちに建設することになった場合に必要な道路であるため、花園保育園の建設地を先に決定する必要があると考えるが、花園保育園の建設地を旧市営城きゅうしえいしろのうえじゅうたくあとちのうえじゅうたくあとちとすることは、いつ決定したのか。とに対し、

令和 3 年 2 月と 3 月に保護者や地元住民を対象に説明会を開き、地域の合意をいただいた上で、3 月 17 日に開催された文教厚生委員会及び、4 月 5 日の全員協議会にて、花園保育園の建設と、運営法人決定や道路整備工事などのスケジュールについて説明し、賛否は確認しておりませんが、ご理解をいただいたものと認識しております。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 42 号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 44 号、議案第 45 号及び議案第 46 号の 3 議案については、一括議題とし、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

跨線橋整備工事箇所に臨接する道路は、非常に通行量が多く、地域住民からは、通行止めになることに対する心配の声を聞いているが、どのように考えているか。とに対し、

今後の工事ではクレーンで、作業が行われたり、大型車両による資材の搬入が必要となるため、一部通行止めになる箇所があります。関係する施工

業者と調整し、通行止め期間が最短となるよう協議を進めてまいります。とのこと。

工事について、周辺住民に案内をする必要があると思うが、どのように行うのか。とに対し、

市報及び周辺地域の各家庭に具体的な通行止め区間や迂回路図を示したチラシを配布します。とのこと。

歩道橋も設置するとのことだが、学生も多いことから自転車をひきながら歩道橋を渡れるような配慮はされているのか。とに対し、

歩道橋階段部分の中央にスロープを設置する構造としているため自転車を引いて渡ることは可能です。とのこと。

跨線橋整備工事の請負業者について、一部市外業者も含まれているが、市内業者と契約することはできなかったのか。とに対し、

制限付一般競争入札によって業者を決定したため、結果的に市外業者が落札し契約することになったものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、3議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第５１号及び議案第５２号の２議案については、一括議題とし、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、２議案とも委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。